

サラマンカホールのパイプオルガン

パイプオルガンの歴史は非常に古く、紀元前数世紀までさかのぼるといわれています。その起源は、パンの笛と呼ばれる原始的な管楽器と考えられています。現存する最古のオルガンの記録は、紀元前3世紀にエジプトで発明された水圧オルガンであります。

パイプオルガンがキリスト教会で使われるようになったのは7世紀頃からです。8世紀には競って設置されるようになりました。このような歴史的背景から、ヨーロッパでは教会での礼拝等でオルガンに接する機会が多く、比較的身近な楽器として親しまれています。一方、日本では宗教的背景の違いもあり、余り馴染みのない楽器でした。しかし、昭和50年頃からパイプオルガンが設置されたホールが多く誕生し、色々な活用がなされるようになり、パイプオルガンがより身近なものとなってきています。

パイプオルガンは、主にヨーロッパでそれぞれ国ごとに異なった特色を持って発展しました。日本でよくみられるのはドイツ様式ですが、近年はフランス様式もみられるようになりました。

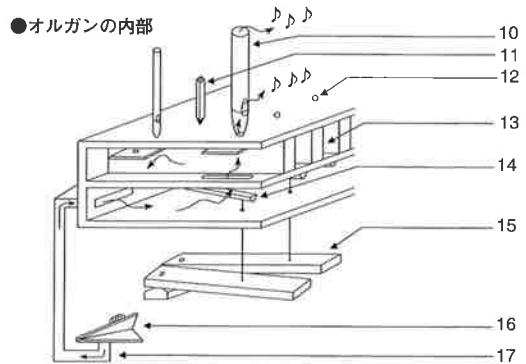
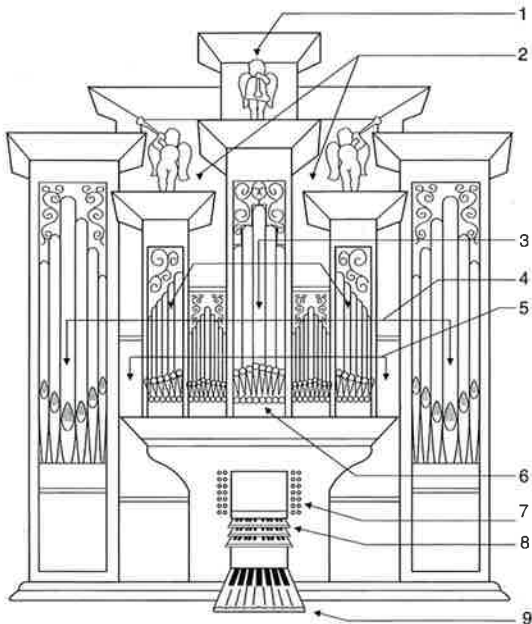
サラマンカホールに設置されているパイプオルガンは、北ドイツ・バロック様式にスペイン様式を独創的に組み込んだものです。このスペイン様式のパイプオルガンは、スペイン・サラマンカ市の大聖堂にあるルネサンスオルガンの複製で、わが国初の完全なスペイン様式のパイプオルガンです。



オルガンの概要

- 大きさ 高さ：10.5m 幅：8.4m
- パイプの大きさ 大：H5m × φ22cm
小：H1cm × φ5mm
- 音域 最高：8,000Hz 最低：33Hz
- パイプの総数 2,997本
- ストップ数 45
- 演奏台（3段手鍵盤、足鍵盤）
メカニカルキーアクション
メカニカルストップアクション
- 第I手鍵盤 SWELL ORGAN C-a''' 58鍵
- 第II手鍵盤 GREAT ORGAN C-a''' 58鍵
- 第III手鍵盤 SOLO ORGAN C-f''' 54鍵
- ペダル鍵盤 PEDAL ORGAN C-f 30鍵
- 設計・整音 辻オルガン・辻宏
- 制作 辻オルガン (Op-56)
- 完成 1994年3月

パイプオルガンの構造



1. 天使の像（3体）
2. グレートオルガン
3. ソロオルガン
4. ペダルオルガン
5. スェルオルガン
6. トランペット
前部に突き出しているパイプ群で、スペイン特有のものである。
7. ストップノブ（音栓）
60個あり、操作によってさまざまな音色が出ます。
8. 手鍵盤（3段）
グレート鍵盤、ソロ鍵盤、スェル鍵盤があります。
9. 足鍵盤（ペダル）
オルガンの両側にある巨大なパイプを鳴らします。
10. 金属パイプ（笛）
材料は錫・鉛あるいはそれらの合金が使われ、配合によって音色が左右される最も重要な部分です。

11. 木製パイプ（笛）
材料は松・檜等いろいろな木が使われます。
12. パイプの立つ穴
この穴の上に全パイプが立ちます。
13. 風箱（小部屋）
各音によって無数の小部屋にわかれます。
14. パレット（弁）
鍵盤を押すと弁が開き、風を送ってその上に乗っている笛だけを鳴らします。
15. 鍵盤
階段状に3段に重ねられ、それぞれの鍵盤数は上段から54・58・58鍵あります。足鍵盤は30鍵あります。
16. ふいご
昔は手や足でふいごをこいでいましたが、今はだいたいモーターを使って風を起こしています。その風をふいごに貯めてそこで一定の圧力に整えてからダクト（17）を通して風箱に送ります。

サラマンカホールオルガンを制作して

辻オルガン 辻 宏

ホールの建築設計がほぼ終了した時点でオルガンの設計が始まりました。設置者の要望は幅広いレパートリーに対応したコンサートホールオルガンであることと、岐阜県とも関係の深いスペイン・サラマンカ大聖堂のルネサンスオルガンの複製をも考えることでありました。

制作上の最も大きな問題は SWELL ORGAN を含む 3 段鍵盤オルガンの中でスペインオルガンをどのように位置付けるかということで、以下のようにそれを解決しました。

第 2 鍵盤の GREAT (HAUPTWERK) は北ドイツ・バロックの様式で、このオルガンの第 1 の中心です。第 1 鍵盤に位置する SWELL は POSITIV ORGAN の変形で、後期のオルガン音楽への対応を考えたものです。SOLO ORGAN と名付けられた第 3 鍵盤は GREAT に対しては RUECKPOSITIV であり、サラマンカ大聖堂のスペインオルガンのほぼ忠実な複製で、この楽器の最も特徴的なところで、このオルガンのもう一つの中心です。PEDAL ORGAN は北ドイツバ・ロックの様式に従っています。

第 3 鍵盤の SOLO ORGAN (Spanish) の利用についてはオルガン制作者としては、それをスペイン音楽のためのものとして使っていただいても宜しいし、RUECKPOSITIV として使って頂いてもよいと考えています。

第 3 手鍵盤 (SOLO) 13ストップ

Manual III	C-f''	54 keys		
1	FLAUTADO 1°		8'	b/t
2	FLAUTADO 2°		8'	t
3	OCTAVAREAL		4'	b/t
4	OCTAVATAPADA		4'	b/t
5	DOCENA		3'	b/t
6	QUINCENA y DEZINOVENA 11	2'	b/t	
	(左手はQUINCENA 2' 右手はQUINCENA y DEZINOVENA 2'+1 1/3')			
7	LENO III		1 1/3'	b/t
8	ZIMBALA IV		1/2'	b/t
9	TROMPETA MAGNA		16'	b
10	CLARIN		8'	t
11	CLARIN DE BAJOS		8'	b
12	BAJONCILLO		4'	b
13	CORNETTA VI		8'	t

(b =左手 C-c'
(t =右手 cis'-f'')

上記のように SOLO ORGAN のストップはスペインの習慣にしたがって低高音に分割されていて、ストップノブもそれぞれ鍵盤の左右に配置されています。スペイン音楽の演奏には重要な役割があるのでこのようになっていますが他の音楽の演奏ではストップ操作にやや注意がいるでしょう。プレナムは 4 OCTAVATAPADA4' を除く 1 FLAUTADO から 8 ZIMBALA までの全ストップの合奏。また 9 から 12 のリード管は、スペインではリード管どうしでのみ使い、他の類のストップとは混合しない習慣で、パイプの音色・整音も当然その様になっています。他のストップと混合したときは音色の融合に演奏者自身で特別気を付けて下さい。13 CORNETTA VI は 8' 列を含むので FLAUTADO 8' を加える必要が無く、むしろ単独で使うとき最も良く響きます。

以上は SOLO ORGAN をスペインオルガンとして見たときの一般的性質ですが、RUECKPOSITIV として使う場合もある程度参考にしていただければと考えております。

サラマンカホールパイプオルガンストップリスト

パイプ総数 2,997本

■ 第3手鍵盤 SORO ORGAN (Spanish) 13ストップ

Manual III C — f'''	54 keys	パイプ本数
1 FLAUTADO 1°	8°	54
2 FLAUTADO 2°	8°	29
3 OCTAVAREAL	4°	55
4 OCTAVATAPADA	4°	54
5 DOCENA	3°	54
6 QUINCENA y DEZINOVENA II	2°	83
7 LLENO III	1 1/3°	162
8 ZIMBALA IV	1/2°	216
9 TROMPETA MAGNA	16°	29
10 CLARIN	8°	29
11 CLARIN DE BAJOS	8°	25
12 BAJONCILLO	4°	25
13 CORNETTA VI	8°	162
		976

■ 第1手鍵盤 SWELL ORGAN 10ストップ

Manual I C — a'''	58 keys	パイプ本数
27 PRINCIPAL	8°	54
28 FLOETE DOUCE	8°	58
29 SALICIONAL	8°	51
30 FIFFARO (c)	8°	46
31 OCTAVE	4°	58
32 NASAT	2 2/3°	58
33 SIFFLOETE	2°	58
34 TIERCE	1 3/5°	58
35 MIXTUR III-IV	2°	202
36 OBOE	8°	58
		701

■ 第2手鍵盤 GREAT ORGAN 13ストップ

Manual II C — a'''	58 keys	パイプ本数
14 PRINCIPAL	16°	39
15 PRINCIPAL	8°	58
16 OCTAVE	4°	58
17 SESQUIALTER II	3°	112
18 MIXTUR III	2°	170
19 SCHARF II	1°	112
20 QUINTADENA	16°	58
21 RHORFLOETE	8°	58
22 GEMSHORN	8°	58
23 FLOETE	4°	58
24 WALDFLOETE	2°	58
25 DULCIAN	16°	58
26 TROMPETE	8°	58
		956

■ 足鍵盤 PEDAL ORGAN 9ストップ

Pedal C — f'	30 keys	パイプ本数
37 PRINCIPAL	16°	26
38 OCTAVE	8°	30
39 OCTAVE	4°	30
40 MIXTUR IV	2°	120
41 SUBBASS	16°	30
42 GEDACKT	8°	30
43 POSAUNE	16°	30
44 TROMPETE	8°	30
45 TROMPETE	2°	30
		356

■ その他

TIMBALAS (ティンパニ) 2 pipes
 PAJAROS (水笛・鳥の声) 3 pipes
 TROMPETERIA ANGELICA 3 pipes
 TREMULANT II & PEDAL
 TREMULANT I & III
 TEMPERAMENT : Werkmeister III
 PITCH : a' = 440 cps

COUPLERS : Manual I to Manual II
 Manual III to Manual II
 Manual III to Manual I
 Manual I to Pedal
 Manual II to Pedal
 Manual III to Pedal